

Wismettac Letter

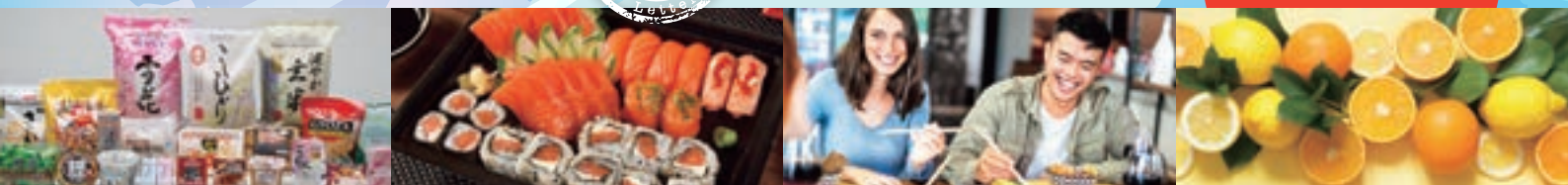
ウィズメタックレター

Business Report

ビジネスレポート 2022.1.1-2022.6.30



世界の食産業に
かかわる課題を解決し、
新たな価値を創造・
提供するグローバル
ソリューションカンパニー



もっと
知りたい!

西本Wismettacホールディングス

今回は**東南アジア**における事業戦略をご紹介します

東南アジアエリアでのWismettacグループについて

東南アジア各国では訪日観光客の増加も相まって、近年、「好きな外国料理」として必ず上位にあげられるほど日本食が人気を呼んでおります。各地のショッピングモールやフードコートに日本食レストランがみられ、今や珍しい外国の料理ではなく、当地の食生活の一部になりつつあります。東南アジアにおける日本食市場は今後、さらに大きな成長が期待できるでしょう。それに伴い、日本食もレストランで食する形態から、スーパーマーケットやテイクアウトといった自宅で食する形態へと多様化しつつあります。

Wismettacグループは、このようなブームが訪れる以前から、日本からの輸出のみならず、タイに駐在員事務所、シンガポールに現地法人を立ち上げ、当地域でのスーパーマーケットやレストラン向けの農・水産品、加工食品の販売ネットワークを築いてまいりました。

現在、シンガポール法人(NTC Wismettac Singapore Pte.Ltd.)では、すし、天ぷら、ラーメンなどのレストランへ原材料を提供する他、小売量販店へ加工食品の卸売を行っております。

さらに、2022年1月、シンガポールを代表する生鮮果実・青果、加工食品卸売の一つ、Ban Choon Marketing Pte.Ltd.を子会社化いたしました。同社は大手小売業、EC事業者、レストラン、ホテルなどへ卸売を行っております。Wismettacグループの強みである世界規模の農産物の仕入ネットワークと日本食販売に対するノウハウを、同社の幅広い顧客基盤と掛け合わせることで、当地におけるさらなる事業成長へ力を入れてまいります。



Ban Choon Marketing Pte. Ltd.を子会社化

当社のシンガポール法人であるNTC Wismettac Singapore Pte.Ltd.はこのたび、シンガポールを代表する大手青果卸の一つであるBan Choon Marketing Pte. Ltd.を子会社化いたしました。

子会社化したBan Choon Marketing Pte. Ltd.は大手小売業、EC事業者、レストラン、ホテル等に対する生鮮果実・青果、加工食品卸売を行っており、当社のシンガポール法人とのM&Aによりグループの強みである、世界規模の青果調達機能を活かした事業成長を狙います。また、今後の東南アジア地域におけるグローサリー向け展開等、販売ネットワークインフラの拡大に向け、力を入れてまいります。

トップメッセージ

当社グループは1912年食の貿易商社として創業、それ以降本年まで110年の長きにわたり皆様のご支援のもと、発展を続けさせていただいてまいりました。

その間、様々な事業環境の変化はありましたが、現在進んでいる食のデジタル革命とパンデミックによる地球的事業環境の変化は、100年に一度のものと考えられます。食のライフスタイルの変化、SDG's、そして反グローバリズムの抬頭、国際関係の不安定化、それらが一気に食産業の世界的パラダイムシフトを惹起しつつあります。

そのような中、当社グループは全世界をカバーする商流・物流基

盤のネットワーク化と取引先のネットワーク化を推進し、その上に、

- 1.モノ (安定供給と顧客目線で自社開発された食)
- 2.デジタル ソリューション
- 3.フードテック ソリューション

を、流通させる事業への脱皮を推進してまいります。

次なる100年間、食における国際ソリューションカンパニーとして世界で独自の価値を提供し続けるべく精進してまいりますので、皆様におかれましては、何卒引き続きご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 CEO 洲崎 良朗

中期経営計画 2022-2024

Purpose

食産業の企業としての社会への貢献

食の安全・安心を守り、
食とテクノロジーで世界をつなぎ、
世界の人々の生活をより豊かに、
より幸せに(Well-being)

Mission

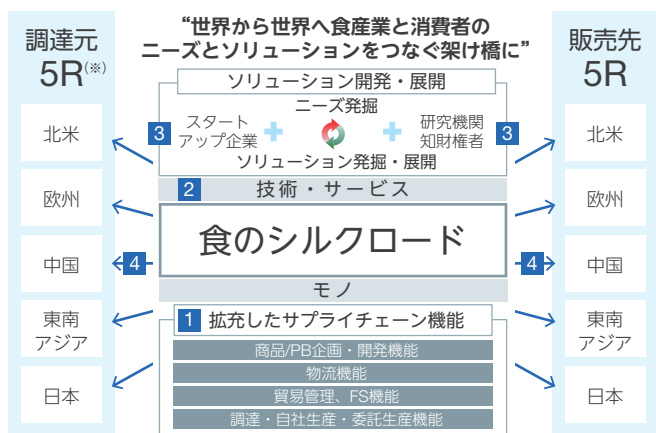
当社の目指す事業のあり方

世界から世界へ食産業と消費者のニーズと
ソリューションをつなぐ架け橋に

そのために、クロスボーダーの食のサプライチェーンを
「食のシルクロード」に進化させる

日本食・青果・輸入加工食品の提供→ソリューション(食・技術・サービス)の提供
日本から世界へ、世界から日本へ→世界から世界へ、双方向での展開

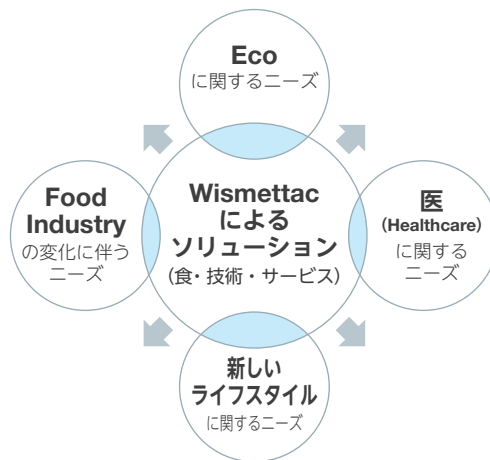
Wismettacグループが目指す姿・事業構想



(※) 5 Regions、世界5地域

Wismettacの果たす役割

- 1 これまで培ってきたサプライチェーン機能をさらに強化
- 2 世界5地域(5R:北米・欧州・中国・東南アジア・日本)での食産業とのネットワークを通じて発掘したニーズに対して、「技術・サービス」ソリューションを開発
- 3 ソリューション開発で得られた知見の共有、社外の研究機関・スタートアップ企業のスケールアップ支援
- 4 当社のモノ・サービス、3によって生まれたソリューション等を5Rに展開



新ソリューション開発 事業化検討案件(抜粋)

Deskilled商品開発(Ready To Eat商品等)	5R共通
病疾患・高齢者向け食のQOL向上事業	中・日
BtoB向け食品・食材購入ECプラットフォーム事業	日
省資源型の栽培技術支援事業	日・豪・米
事業シーズ・Solution発掘を支援	
Startup・大学・研究機関・VCとの協業	日・欧・中

数値計画

		(億円)				コメント
		FY2021 実績	FY2022 修正後	FY2023	FY2024	
全社	売上	2,132	2,540	2,792	3,045	既存・新規ともに売上は伸長 中長期的な成長に向けた体制強化 および投資は継続
	営利	73	90	95	100	

(※) 2022年5月公表時ベース。FY2022は、通期予想為替レートの変更等により、中計公表後の8月に上方修正。

2022年12月期第2四半期までの事業の概況

2022年12月期第2四半期累計の業績は、売上高は1,307億円(前年同期比308億円増)、営業利益は60億円(同27億円増)、経常利益は64億円(同31億円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億円(同19億円増)となり、第2四半期累計としては、過去最高の実績を達成することができました。

セグメント別で見ますと、主力であるアジア食グローバル事業において、売上高・営業利益ともに大きく伸長しました。北米を中心にレストラン向け売上が伸びたこと、また、コロナ禍以降に売上を下支えしてきたグローサリー向けも好調を維持し、大幅な増収となりました。利益面では、マーケット全体で供給不足が続く中で安定的な商品供給とサービス水準の維持に努めたこと、また、インフレ進行等による費用増加に対して適切な価格転嫁に努めたことにより、大幅な増益となりました。

農水産商社事業におきましては、主力商品である輸入果実について、原産国におけるインフレや海上運賃の高騰に加え、入船スケジュールの乱れによる物流関連コストの増加、さらには円安の進行など、仕入原

価の上昇が国産青果に対する価格競争力の低下等をもたらした結果、国内市場は厳しい販売状況となりました。その一方で、シンガポール大手青果卸売業者であるBan Choon Marketing Pte. Ltd.の連結子会社化等により、セグメント全体としては前年同期比で増収となりました。利益面については、前述の原価高騰に加え、コンテナ船延着に起因する品質劣化に係る処理等も影響し、前年同期比で減益となりました。

2022年12月期第2四半期 経営成績

売上高	1,307億円
営業利益	60億円
経常利益	64億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	45億円

2022年度通期連結業績予想修正

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は順調な回復が見込める一方、需給バランスの正常化に向かう中で他社との競合による価格調整局面や、費用増加によって利益率が低下圧力がかかる可能性等を勘案しておりました。上半期における事業環境は凡そ想定通り

であったものの、主力の北米地域を中心とした好調な販売状況に加え、円安による為替換算の影響が利益を押し上げる結果となりました。

これら上半期の好調な業績および円安の継続による増益効果を勘案し、2022年12月期の通期連結業績予想を下表の通り修正しております。

	修正前(5月公表) 通期	修正後 通期	増減額	中間期(実績)
売上高	2,540億円	2,650億円	+110億円	1,307億円
営業利益	90億円	105億円	+15億円	60億円
経常利益	90億円	105億円	+15億円	64億円
親会社株主に帰属する当期純利益	60億円	70億円	+10億円	45億円
(期中平均USD為替レート)	(120.00)	(127.00)		(122.89)

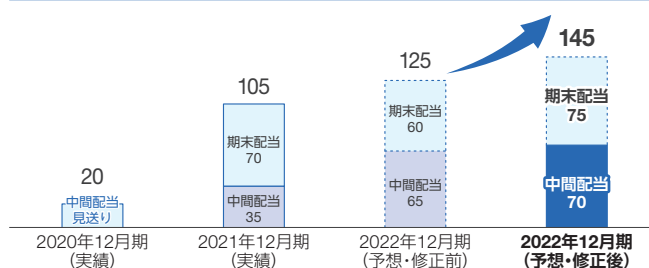
株主の皆様へ

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保を確保しつつ、通期での連結配当性向30%を目安として安定的な配当を継続して実施することを、株主還元の基本方針としております。

このような方針と通期連結業績予想の修正をふまえ、中間配当は1株当たり70円とさせていただくとともに、期末配当予想は1株当たり75円に増額修正しました。年間配当予想としては、1株当たり145円となります。

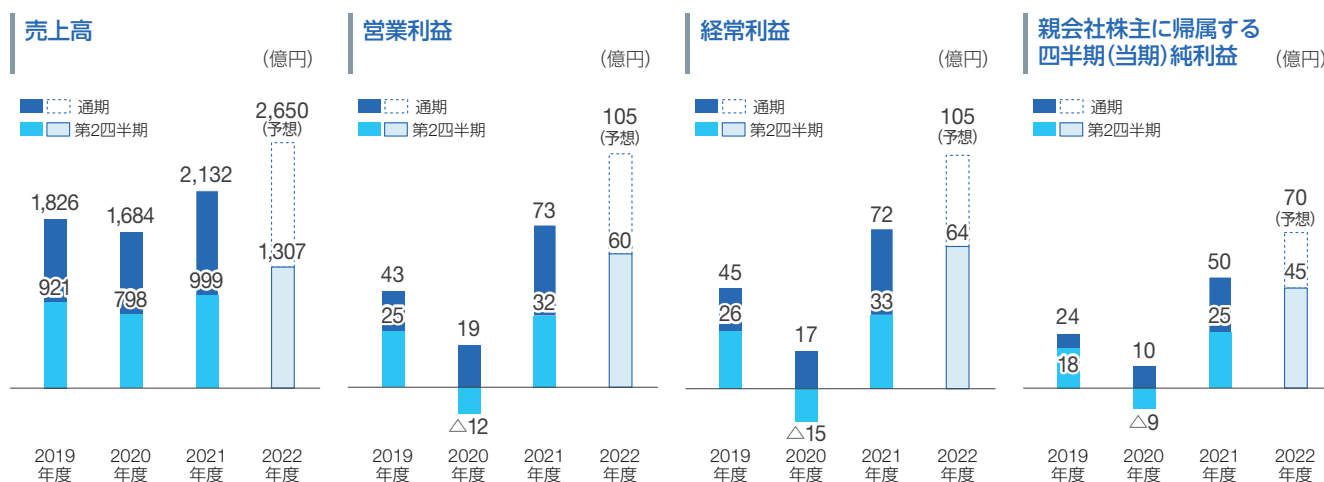
株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり配当額



連結財務ハイライト

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
売上高 (億円)	921	1,826	798	1,684	999	2,132	1,307	2,650
営業利益 (億円)	25	43	△12	19	32	73	60	105
経常利益 (億円)	26	45	△15	17	33	72	64	105
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (億円)	18	24	△9	10	25	50	45	70
純資産 (億円)	515	523	496	508	561	598	731	-
総資産 (億円)	835	965	949	1,136	1,244	1,417	1,739	-
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	130.86	173.71	△65.43	70.80	180.26	350.34	313.84	487.70
自己資本比率 (%)	61.7	54.2	52.3	44.4	44.7	41.9	41.7	-



> 2022年12月期第2四半期 セグメント別の概況

売上高構成比 (%)



ホームページのご案内

当社のホームページでは、事業内容やニュース&トピックス、西本 Wismettacグループの概要についてご紹介しています。また、株主・投資家情報のページでは最新の財務・業績の情報のほか、IRに関するニュース、IRライブラリーなど様々な情報をご提供しています。是非一度ご覧ください。



西本ウィズメタック

検索

<https://www.wismettac.com/ja/index.html>



世界の西本Wismettac

西本Wismettacグループは世界中で事業を展開しております。

Vol.9

東南アジア

Ban Choon Marketing Pte. Ltd.

海外からの
“声”

Q Ban Choon Marketing Pte. Ltd.の企業理念についてお聞かせください。

世界中の生鮮品や健康食品を、競争力のある価格で消費者に届けることができるようにすること。

Q 他の地域と比較し、東南アジアエリアならではの特徴を踏まえたBan Choon Marketing Pte. Ltd.の強みを教えてください。

シンガポールは東南アジア地域に近接しているため、周辺国への効率的な開発拠点として重要な役割を担っています。シンガポールは重要な統合拠点であり、Ban Choon Marketingの強みは、小売チャネル、ホテル、レストラン、カフェ、オンラインチャネル、卸売市場など、様々な顧客層にサービスを提供するマルチ流通チャネルとオムニ流通拠点にあります。

多民族国家であり、様々な民族が存在するため、Ban Choon Marketingは、英語、中国語、マレー語、方言など様々な言語のパートナーとコミュニケーションをとることができるように備えています。



Director
Michelle Tan san

Q 事業を通じて今後力を入れていきたいこと、目指すべきビジョンについて教えてください。

フードソリューションと付加価値製品、食品技術の分野で従来のビジネスを近代化し、手作業による処理のデジタル化によって効果的かつ効率的なプロセスを強化します。

News & topics

サステナビリティ基本方針を策定

当社は食を通じた持続可能な社会の実現の貢献を目的に、「サステナビリティ基本方針」策定いたしました。また、この方針に基づき長期的な取り組み施策として、サステナブル経営の重要課題、取り組み課題の設定を行いました。これからもステークホルダーの皆様から信頼される企業グループであり続けるために、持続的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株主優待のご紹介

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、年1回株主優待を実施しております。



株主優待制度の概要

① 対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様

② 優待の内容(2021年度)

当社グループが運営する商品購入サイト「NISHIMOTO WORLD GIFT」でご利用いただけるクーポンコード(1クーポンコード=3,000円相当)を記載した優待券を、定時株主総会決議のご通知に同封し、贈呈いたします。

保有単元数(保有株式数)	クーポンコード個数
1~3単元(100株以上400株未満)	1個(3,000円相当)
4~6単元(400株以上700株未満)	2個(6,000円相当)
7単元以上(700株以上)	3個(9,000円相当)

※1回の商品ご購入で、1クーポンコードのみご利用いただけます。

WebサイトURL

<https://www.hello-worldgift.com/>

スマートフォン・携帯電話はこちらからアクセス



★初めてご利用の方は会員登録が必要です



2021年12月末日時点の株主様にご送付しているクーポンコードのご利用期間 **2022年4月~2022年12月末日**

お問合せ先

Wismettacフーズ株式会社ワールドギフトカスタマーサービス

0120-096-810

9:00~17:00
(土日祝、年末年始休業日を除く)

> 会社概要

社名 西本Wismettacホールディングス株式会社
(英名) Nishimoto Co., Ltd.
創業 1912年5月
本社所在地 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号
日本橋室町三井タワー15階
資本金 2,646,177,532円

> 役員

代表取締役会長兼
社長 CEO 洲崎 良朗 取締役
(常勤監査等委員) 木村 敦彦
取締役 辻川 弘 社外取締役
(監査等委員) 能見 公一
取締役常務
執行役員 CFO 佐々 祐史 社外取締役
(監査等委員) 大村 由紀子
取締役
グローバルCDO 行徳 セルソ

> 国内・海外拠点

〈日本〉

西本Wismettacホールディングス株式会社
 ・東京本社、神戸本店（※登記本店）

Wismettacフーズ株式会社

・東京本社、神戸本店（※登記本店）、大田オフィス、大森オフィス、神戸支店

〈北米〉

Wismettac Asian Foods, Inc.

・Los Angeles Office (Corporate Headquarters)、Arizona Office、Atlanta Office、Chicago Office、Dallas Office、Denver Office、Miami Office、Hawaii Office、Houston Office、Las Vegas Office、New York Office、San Diego Office、San Francisco Office、Seattle Office、Washington, DC office、Toronto Office、Vancouver Office、Montreal Office、Orlando Office、Boston Office (Satellite Office)、Sacramento Office (Satellite Office)、Calgary Office (Satellite Office)、Ohio Office (Satellite Office)、Raleigh Office (Satellite Office)

〈アジア〉

Wismettacフーズ株式会社

・バンコク駐在員事務所、ホーチミン駐在員事務所、ソウル駐在員事務所

慧知旺食品商貿（上海）有限公司

愛品盟果業貿易（上海）有限公司

NTC Wismettac Singapore Pte.Ltd.

Ban Choon Marketing Pte. Ltd.

慧思味達日本食品有限公司

〈オセアニア〉

NTC Wismettac Australia Pty Ltd.

・Sydney Office、Melbourne Office、Perth Office、Brisbane Office

〈ヨーロッパ〉

NTC Wismettac Europe B.V.

Wismettac Harro Foods Limited

SSP Konsumgüter TRADE & CONSULT GmbH

・Berlin Office

COMPTOIRS DES 3 CAPS SAS

・Comptoirs Oceaniques

・Tropic Fish

Sco-Fro Group Limited

> 株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 14,353,140株
株主数 2,364名

> 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
多津巳産業株式会社	6,235	43.5
洲崎良朗	2,910	20.3
公益財団法人洲崎福祉財団	1,300	9.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	834	5.8
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	500	3.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	336	2.3
GOVERNMENT OF NORWAY	211	1.5
FIDELITY INVESTMENT TRUST : FIDELITY JAPAN FUND	137	1.0
上田八木短資株式会社	128	1.0
金井孝行	113	1.0

(注1) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。

(注2) 持株比率は、自己株式220株を控除して計算しております。

> 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	12月31日
剰余金の配当の 基準日	中間配当 毎年 6月30日 期末配当 毎年12月31日
1単元の株式数	100株
取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 公告掲載URL https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html

世界の食の架け橋として貢献

Wismettac (ウィズメタック) とは



「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体

・革新の「赤」+自然の「緑」
・「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」

社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

【Wisdom】…西洋智

【Metta】…東洋智

(パース語: 優しさ/思いやり)

【Creativity】

…価値の創造力

西本Wismettacホールディングス株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階

Tel: 03-6870-2015 Fax: 03-6870-2016

